

キャッチフレーズ

Know Yourself ～外国人にとって住みやすい県にするために～

現状・課題

- 1 交通の不便さ
 - ・電車が少ない。駐車スペースが少ない。
- 2 安全性の問題
 - ・街灯が少なく夜歩くのが怖い。歩道が狭く危ない道路がある。
- 3 活気がない
 - ・駅前に遊ぶ場所が少ない。
 - ・オリンピックを生かし切れていない。
 - ・地域産業に元気がない。
- 4 情報不足
 - ・長野県の良いところ、悪いところを知らなすぎる（長野県民という意識が薄い）。
 - ・県や行政の情報が伝わってこない。
（森林づくり県民税や長野県短期大学4年制化など）

これらの問題は外国人にも共通する問題

取組・方策

皆にとって住みやすい県をつくる

- 1 便利な町
 - ・試験的に電車の本数を増やす。
 - ・駐車場スペースを確保する。
 - ・道路に名前を付ける。
- 2 安全な町
 - ・住民による地域のパトロール体制の強化、交通マナーの浸透
 - ・歩道が十分に確保されているかチェックし整備する（学校周辺を集中的に）。
 - ・街灯を増やす。
- 3 活気のある町
 - ・TPP参加を見越し、農産物を中心とした特産品を売り出す。
 - ・（外国人）観光客を呼び込む。
- 4 情報の共有と個人の意識の向上
 - ・長野県のことを良く知る（相手を理解するにはまず自分を知ることが大事）。
 - ・学校で長野県を学ぶ授業があればいい。
 - ・お互いにコミュニケーションを取る。
 - ・長野県民であるという意識を持ち、長野県をどんどんアピールする。

安全・便利で活気のある町の延長に、外国人に優しい町がある。
それを踏まえ、言語や文化の違いからくる問題をサポートしていく。